

スーパースマイル

2016年（平成28年）秋号（vol.87）くしま矯正歯科通信

545-0011 大阪市阿倍野区昭和町1-21-22 徳山ビル4F

TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878

info@kushima-ortho.com

<http://www.kushima-ortho.com>



近畿矯正歯科研究会に参加し 症例展示しました



秋は一年のうちでも最も学会の集中する季節です。

9月11日は毎年開催される第34回近畿矯正歯科研究会があり、当院からは院長、副院長と非常勤の歯科医師の宮本先生と岡先生が参加しました。

院長は34回すべてに参加し症例展示も30回すなわち60症例を展示しましたので、会から立派な盾をいただきました。副院長も2症例の展示を行いました。若い先生方も大変刺激を受けたことと思います。自分の症例を、矯正治療を中心に治療している他の先生に見せるのは大変な緊張を伴いますが、テクニックも出身大学も異なる先生たちと討論をすることは、自己の治療技術の向上に欠かせません。昨年私が出した症例は、話題賞をいただきましたので、このたび出版されたこの会の会誌に載りました。この論文には、特に咬合誘導について力を入れて書きました。10月には毎年開催されるアレキサンダー研究会が東京であり、院長、副院長が参加します。

10月下旬には日曜会の講演会が、そして11月には徳島での日本矯正歯科学会が開催され、いずれも参加します。当診療所では、毎日副院長はじめ他の歯科医師とディスカッションしながら診療していますが、技術の向上や最新の治療の考えかたを学ぶためには、こういった学会への参加が欠かせないのです。

咬合誘導について

当院は矯正歯科・小児歯科という標榜をしていますが、院長が特に力を入れているのが咬合誘導です。これは小児の患者さんが来られた時、なるべく矯正装置を使うことなく、乳歯の削合、抜歯あるいは保存などを行って骨格も良い歯列にすることです。

症例によっては何ら装置を入れることなく、したがって費用も少なく、虫歯や歯肉炎などの心配も軽減されきれいなかみ合わせを得ることができます。経過によっては、必要な時点で保護者の方と相談の上、装置を入れることがあります。